



令和7年度 園だより 2月号

R8.2.1 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園



今年の冬は雨が少なく晴れの日が続いていて、「子どもは風の子」との言葉通り、幼稚園の子どもたちは園庭で元気いっぱいに遊んでいます。年長さんは集団での遊びが盛り上がりを見せて、ドッジボールやS字じゃんけんなど先生なしでもルールを決めて楽しんでいます。時には意見が食い違ってトラブルになることもありますが、子ども同士で解決できるよう見守り、手助けしています。また、年中さんは縄跳びに夢中で、一人跳びや大縄跳びなどをして体を動かしています。「暑くなってきたからスモックを脱ごう」と言うほどです。年長の遊びをよく見ていて真似をする姿も見られます。そして、年少さんやたんぽぽさんは三輪車をつなげて走ったり、砂場で穴を掘ったりと友だちとのかかわりが増えてきたことを感じます。また、どのクラスでも空き箱製作が活発に行われるようになり、お店屋さんごっこも開かれて大盛況でした。年齢によって遊びは様々ですが、子ども一人一人が自分のやりたいことを満足できるまで取り組めるよう、環境を整えサポートしています。進級、進学が子どもにとって楽しみとなるようにご家庭でも今できることを十分に認め、自信を持たせていただきたいと思います。そこから次のステップへの意欲が生まれてくるからです。

園長 和田 由美



	今月のねらい	今月のうた
年少	<ul style="list-style-type: none">・のびのびと活動し小グループでのかかわりを楽しむ・いろいろな素材にふれ、制作を楽しむ	まめまき ドレミのうた
年中	<ul style="list-style-type: none">・グループで活動する楽しさを知り、進んで遊びに参加する・いろいろな素材にふれ、自分のイメージしたものを形にする楽しさを味わう	みんなともだち ドレミのうた
年長	<ul style="list-style-type: none">・一人一人が力を出し合い、相手を認め合いながら、遊びを進めることができる・卒園までの見通しをもって、意欲的に活動に取り組む	6さいのうた さよなら ぼくたちのようちえん



「はなをくんくん」

ルース・クラウス:文、マーク・シーモント:絵、きじまはじめ:訳

森の中は真っ白に雪がつもっています。その雪の下で、動物たちは眠っています。のねずみも、くまも、ちいさなかたつむりも…。

ところがとつぜん、眠っていた動物たちが目をさまして、みんな、はなをくんくん。そのうちに、みんなかけだしました。どこへいくの？ まだ降りしきる雪の中に集まつた動物たちの真ん中には、一輪の黄色いお花が咲いていました！ 柔らかな白黒の絵が続き、最後に現れる花の色にハッとさせられます。動物たちのうれしそうな表情も印象的で、読んでいる私たちも思わず笑顔に。心地よいことばのリズムにのせて、絵がいきいきと動きだします。春を見つけた喜びにあふれるアメリカの絵本です。